

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2面 都知事選挙
- 3面 大使館訪問と故マンデラ氏の追悼式
- 4～5面 沖縄連帯・激励の旅
- 6面 エルナンデス氏の各地訪問
- 7面 列島 AALA
- 8面 私と AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2014年2月1日 No.643

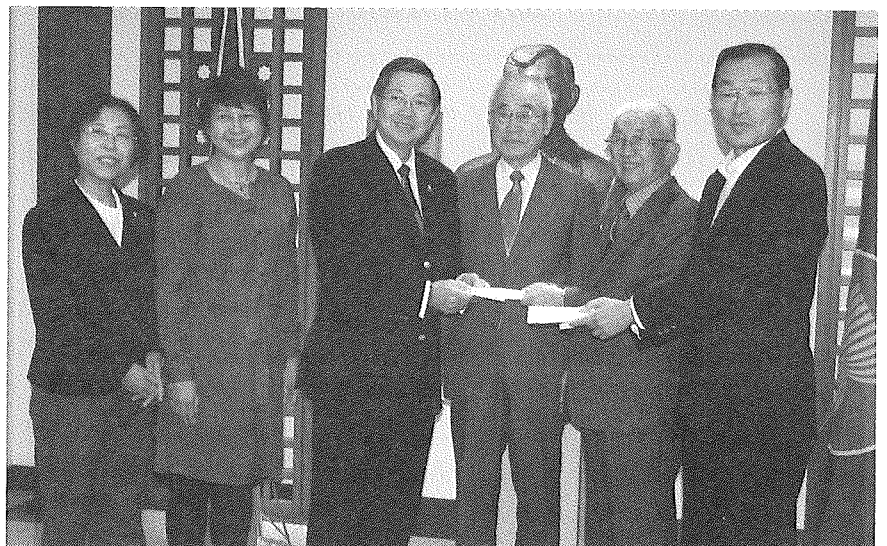


写真は「しんぶん赤旗」提供、関連記事は2、4、5頁

フィリピン共和国ロペス大使に、台風の救援金を手渡す

1月16日、日本 AALA の秋庭・小松崎代表理事、佐川理事、埼玉 AALA の野本事務局長、東京 AALA 西東京支部の増賀世話人が、ロペス・フィリピン駐日大使とイグナシオ公使にお会いし、台風の見舞いを申し上げました。そして、日本 AALA 本部と埼玉 AALA に寄せられた救援カンパを渡しました。大使からは丁寧なお礼の言葉がありました

懇談では、日本 AALA の説明と東アジアに平和の共同体をつくるとりくみへの協力を依頼をしました。



左から増賀、イグナシオ公使、ロペス大使、秋庭、小松崎、野本の各氏（撮影・佐川）

歴史的 都知事選挙

ストップ! 暴走安倍政権

東京から日本を変え、アジアに平和を発信

猪瀬前知事の裏献金疑惑辞任による都知事選挙は、都政を変える絶好のチャンス。東京から日本を変える絶好のチャンスです。

12月28日、前の日本弁護士会会長の宇都宮けんじさんが、いち早く立候補を表明しました。宇都宮さんは、政策を訴えて、市民・都民の中に広げる選挙にするとして、5つの基本政策とオリンピック・猪瀬前都知事の疑惑究明の特別政策を明らかにしました。宇都宮さんの訴えは、都民・国民の願いそのものであり、日ごとに共感の輪を広げ、急速に支持の声が広がっています。

また、運動についても「政策を支持していただけるすべての団体、政党に支援を呼びかけて」

進めるとしています。

超短期決戦の都知事選挙です。支持する多くの政党・団体・個人が力を合わせて、これまでの都政のひどさと宇都宮さんの人柄と実績やその政策を届けきれ

ば、政策を広範な都民に知らせれば、都政を変える展望が生まれます。日本の命運をかけ激烈にたたかわれた名護市長選挙は、沖縄県民と全国の平和を愛する人々の支援で勝利しました。それを受けての都知事選です。

ストップ!暴走安倍政権



くらし・福祉第一の都政を!
東京から日本を変え、アジアに平和を発信しよう!

歴史的都知事選を宇都宮けんじさんとともにたたかきましょう。

革新都政をつくる会事務局長
中山伸 (日本 AALA 会員)

アピール

歴史的な都知事選挙—安倍政権の暴走をストップし、憲法を生かし、都民本位の都政の実現、東京からアジアに平和を発信しよう!

2014年1月8日 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会三役会

猪瀬都知事は、徳洲会からの5000万円収賄の疑惑が深まり辞任に追い込まれ、1月23日告示、2月9日投票で東京都知事選挙がおこなわれます。そして日本弁護士連合会前会長の宇都宮けんじさんが、1月6日、都知事選挙への立候補を正式に表明しました。

宇都宮さんは、日本弁護士会の会長として、人権、平和、憲法を守り発展させる運動の先頭で頑張ってきました。また、宇都宮さんは、東京から日本を変えるとして、都民が暮らしやすい東京、原発のない社会と経済、安倍内閣の暴走をストップし、憲法を守り、東京からアジアに平和を発信するなど五大基本政策を発表しました。この実績と政策は、日本 AALA の方針及び運動と軌を一にします。まさに、今回の都知事選挙は、安倍内閣の命運と日本の将来を左右するものです。

日本 AALA の三役会は、これらのことをふまえ宇都宮さんと共に都知事選挙をたたかい、安倍政権の暴走をストップし、憲法を守り生かし、都民本位の都政の実現、東京からアジアに平和を発信することを、心から訴えます。

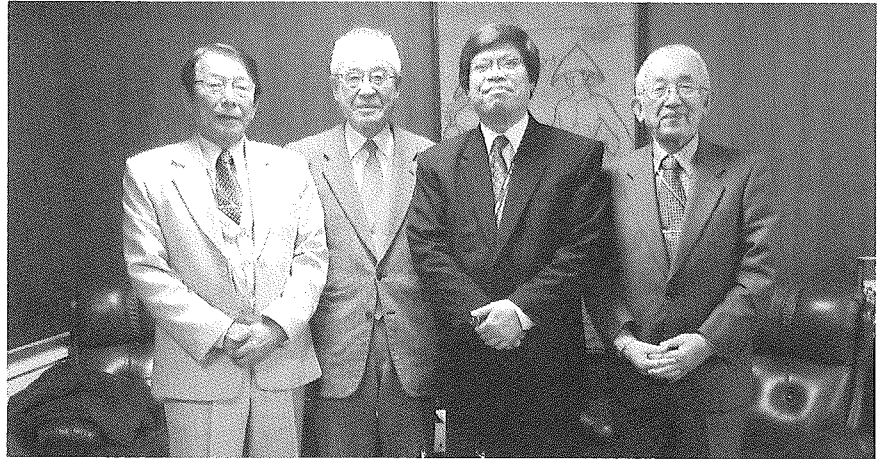
「東アジアに平和の共同体」をめざす シンポジウムと東南アジアの旅

インドネシア シナガ公使に協力要請

日本 AALA は「東アジアに平和の共同体」を創設するために、民間団体として貢献することを大会で決めました。そして、東南アジア諸国連合 (ASEAN) や東南アジア友好協力条約 (TAC) などの研究と交流のツアーや「東アジアに平和の共同体を」と題する国際シンポジウムの実施めざして準備に入っています。

その一環として、1月15日に秋庭稔男、小松崎栄の両代表理事と鈴木勝比古国際委員がインドネシア駐日大使館を訪問し、ジョニー・シナガ公使に協力を要請し懇談をしました。会談には、ノールマン・エファンデイット書記官、バンバン・スハルト公使参事官なども参加し、友好と連帯が深まりました。

会談は、秋庭代表理事から日



左から鈴木、秋庭、シナガ公使、小松崎の各氏

本 AALA の紹介のあと、小松崎代表理事からインドネシア訪問や国際シンポジウムの意義と協力を要請しました。これに対し公使からは、「インドネシアも非同盟諸国会議に参加しており、アジアの平和の構築に日本 AALA と協力

していく可能性がある」「世界をよくするために、日本 AALA や AAPSO の役割は重要である」など述べられました。そして、要請について、交流できる方の名前もあげて、積極的に協力することを表明されました。

故マンデラさんの追悼式

秋庭代表理事が賛辞(弔辞)を述べる



12月11日、国連大学の講堂で、故ネルソン・マンデラさんの追悼式が挙行されました。

案内をいただき、日本 AALA を代表して、在京の秋庭稔男と小松崎栄の両代表理事が参加しまし

た。

式のなかで、秋庭代表理事、国連事務次長、岸田外務大臣、アフリカ外交団代表の4人が、マンデラ氏の功績を忍び偉大な功績をたたえる「賛辞(日本での弔辞)」をのべました。秋庭氏は「アパルトヘイト闘争の代表」と紹介されました。

ペコ南アフリカ駐日大使は「悲しみとともに祝う」と挨拶。厳かななかにも、明るい民族音楽がひびき、人類の解放者にふさわしい式になりました。

日本 AALA 沖縄 激励・連帯の旅 1月9日~12日

米軍基地の視察と基地反対の座り込みを激励 名護市長選挙勝利へ多様な連帯活動

普天間基地に常駐するオスプレイ



アメリカの世界戦略である名護市への米軍の新基地建設の是非を争点におこなわれた1月19日の名護市長選では、新基地反対の稲嶺ススムさんが前回より大きく差を広げて圧勝しました。この勝利は、名護や沖縄は勿論、日本と世界の平和と未来に大きな展望を開くものです。名護市民の心意気と良識に敬意を表します。

1月9日から12日、日本 AALA は、31人の参加で沖縄激励・連帯のツアーをおこないました。空港では田港沖縄 AALA 理事長の出迎えを受け、名護市史編纂委員の川満彰さん、日本 AALA の幸野常任理事の案内で各所をまわりました。ツアーの要所では、各界の著名な方が出迎えてくださり懇切丁寧な説明や案内をしてくださいました。座りこみなどたたかひの現場ではカンパや檄布を渡し、交流をしました。

また、稲嶺名護市政を守るための取り組みでは、早朝の手振り、ハンドマイク宣伝、電話、対話など多彩な活動をしました。そのなかで、家に招かれてコーヒーをごちそうになったり、お菓子を頂くなど逆に励まされました。参加者の中からは「この旅の力で都知事選挙も楽しくたかえそう」との感想も出されました。



沖縄復帰と米軍基地撤去で不屈にたたかった瀬長亀次郎氏の記念館(不屈館)では、次女で館長の内村さんから説明を受ける



オスプレイが並び普天間基地が一望できる嘉数高台では、地元宜野湾市の伊波前市長の説明を受ける



新基地予定地の辺野古(キャンプ・シュワブのフェンス前)にて=前列写真を持つ方が具志堅市議



船をチャーターし、東恩納名護市議の案内で、海上からキャンプ・シュワブ米軍基地と埋め立て予定地を視察



東村高江区の貴重な自然を破壊し、オスプレイ基地建設をすることに反対してたたかうみなさんを激励する。左端は伊佐さん



上—早朝の街頭で、出勤する人たちに名護の新基地反対を訴える中—新基地反対の名護市政擁護でがんばる統一連のみなさんを激励
下—ハンドマイク宣伝、対話、電話など多彩なとりくみをする



上—田港沖縄 AALA 理事長から、沖縄の運動のお話を聞く
下—内村さん(左端)も交流会に参加し、熱唱する



米軍基地のなかの土地を取り戻し、牧畜を営む池原さん(左)を訪ね、長い不屈の闘いの歴史と現状を聞く。右は川満さん

エルナンデスさんの連帯と交流、講演の旅

京都

大阪

広島

みなさんが
歓迎と案内

研究のために日本に滞在していたキューバの著名な政治学者のラファエル・エルナンデス元リバナ大学教授は、帰国に際して、日本 AALA 国際委員会の新藤通弘さんや京都、大阪、広島 AALA の皆さんのお力で、12月21日から26日にかけて関西と広島を訪問しました。各地での様子と広島の講演内容（概要）を紹介します。

京都—古都の美を楽しむ

エルナンデス氏と京都 AALA の有吉さん



京都では、京都駅にエルナンデスさんを迎え、駅舎の屋上から街並みと街をとり囲む山々を眺望しましたが、あいにくの冷たい雨で、早々に清水寺へ向かいました。エルナンデスさんは雨の清水寺境内で、とくに土俗的な雰囲気のある地主神社に興味をもち、さかんにカメラを向けていました。

夜は下鴨の京料理・福助で歓迎夕食会。日本語やスペイン語学習で交流のあるコロンビア人のポールさんの応援を得て、総勢 11 人で質問攻めにしました。翌朝は陽光がもどり、鴨川源流の山々の積雪が輝いて、冬の京の美の一端を感じ取ってもらえたと思います。

この日は鳥津製作所の記念館を見学。昼は京大構内のカンフォラでパスタをとりながら歓談のあと、吉田神社を欄宜の方の案内で見学しました。また、ご希望で白川沿いの古い町並みの保存地域を歩き、熱いぜんざいで身体をあたためました。

(京都 AALA 澤居 紀充)

大阪の学習会—ユーモアたっぷり、会場爆笑

大阪では、学習会「移行期の

キューバの現状を聞く」をおこないました。エルナンデスさんは、キューバについての「信じられている 13 の常識（実は誤解）」を具体的な事実を挙げてくつがえすとともに、市場経済導入と民主化を含む「移行期」の困難さや解決すべき課題を率直に語りました。ユーモアたっぷり、熱のこもった講演は参加者を魅了しました。

夕食を兼ねた交流会では、講演に対する質問や感想、キューバへの思いが次々に出され、エルナンデスさんは食べるのも忘れて耳を傾け、熱っぽく答えました。最後に澤田理事長が「キューバでは 3、4 回結婚するのが当たり前と聞く。事実か。あなたは何回結婚したか」と質問。エルナンデスさんは「事実だ。私は 4 回した。キューバでは女性が強く、離婚はたいてい男が追い出される。私もそうだった」。会場爆笑のうちに、キューバでの女性の地位や社会進出、社会保障の充実ぶりが明らかになりました。

(大阪 AALA 澤田 有)

広島—平和公園を訪問、原爆慰霊碑に献花

広島では、原爆慰霊碑に献花（写真）をおこない、平和公園も案内しました。講演の概要は次のようなものです。

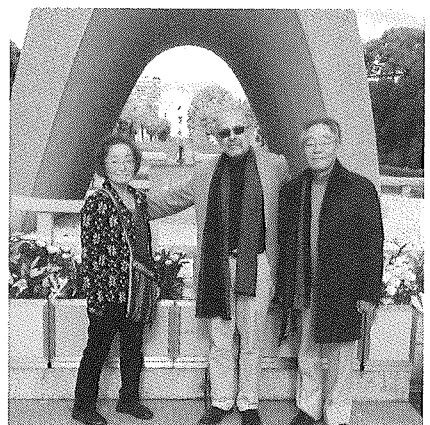
80 年代は社会的な格差が少なかったがソ連崩壊でキューバは混乱した。格差は 10:160 にも広がった。それでも他の中南米と比べると医療は無料、教育は 9 年間の義務教育を保障している。問題は低賃金と住宅問題、財政政策では、

キューバ資産を利用した製品は米国に輸出できないなど問題がある。米国の禁輸政策の多面的な影響により、経済回復、構造的変革が困難になっている。いま 4 つの問題がある。①中央集権②過度の国家統制③過度の官僚主義④法の支配が弱い。中央集権がゆるめば状況は変わる。国の管理が多すぎる。食事、散髪まで管理されている。それは必要ではない。超官僚主義は超国家主義。信じがたいがそうになっている。法の支配が弱い。

キューバに社会主義のモデルはない。キューバの独自性が必要だ。改革で柱は、第 1 に地方の政策能力を強化すること、第 2 は国家諸機関の縮小、第 3 はメディアの自由、第 4 に参加型の民主主義を強化することだ。

今回のエルナンデスさんのお話を聞きし、キューバの改革に希望をつかむと同時に、日本の現状が歴史的後退を許してはならないとの思いを強くした。非核非同盟の日本と平和な世界のために運動の発展をめざしたい。

(広島 AALA 利元 克巳)



写真中央がエルナンデス氏



埼玉

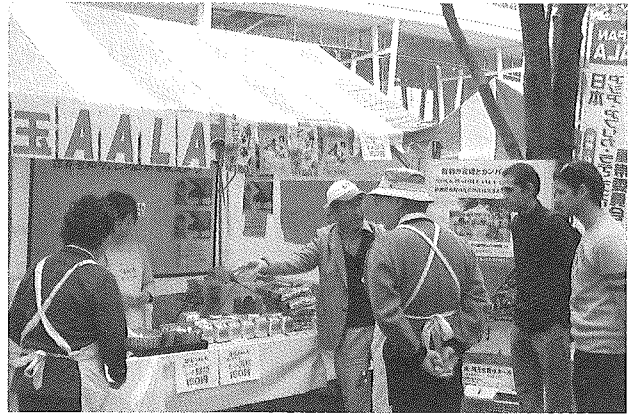
国際フェア 2013 に出展

埼玉 AALA は 11 月 2 日、3 日 さいたま新都心駅・けやきひろばで開催された(公財)埼玉県国際交流協会主催の国際フェアに今年も出店しました。

このフェアは 12 年前から開催

されていて一般市民に AALA を周知してもらう絶好の機会として毎年出店しています。テント内では従軍慰安婦「金学順(キム・ハクスン)さん」の証言、非同盟運動と日本 AALA のあゆみ、沖縄やんばるから

のメッセージ・高江の近況などのビデオをくりかえし上映し、テント外では淹れたてのオスパーブレンドコーヒーと豆の販売をしました。改版した埼玉 AALA の紹介リーフレットと、埼玉映画文化



国際フェアの埼玉ブース

協会と埼玉 AALA が共催上映する沖縄の普天間基地をテーマにした映画「標的の村」の宣伝チラシを配布するなど埼玉 AALA の存在を示す出店になりました。

(前田信良)

京都

日常的・継続的活動を重視

京都 AALA は月 1 回定例(第 2 日曜日午前 10 時~12 時)の運

営委員会を軸に、日常的・継続的活動を重視してとりくみを進めています。

毎週の英語講座(基礎と中級の 2 つ)、中国語講座、月 1 回定例の国際問題例会(現在京都府内 4 カ所、年数回の世界エスニック料理の旅(会員の昼食交流会)、年 2 回の公開講演会などです。今年度はこれに加え、隔月の

京都 AALA サロンをはじめました。これは外国人留学生をゲストに招いて、各国と日本の現状を自由に話し合うもので、この 1 月に第 1 回として、まず日本における外国人留学生の諸問題について学習します。

また留学生支援団体に協力して、留学生の日本語学習援助のスタッフとして多くの会員が活動しています。個別の学習チームを組んでの活動は、それぞれ週 1 回定例です。自由な会話の時間には、留学生の母国と日本との比較や世界の動きなど国際連帯の生き生きとした関係を実感できます。

(澤居紀充)



キューバのラファエル・エルナンデスさんと(12/22 鴨川で)

富山

共同行動、独自企画を組み合わせ

富山 AALA は毎月 1 回の企画を軸に、原発をなくす県連絡会、安保廃棄県実行委員会などにも加わり、さまざまな共同行動をすすめてきました。

最近では、秘密保護法に反対する呼びかけ人の訴えに呼応した 2 度の集会・デモ(各 300 人規模)

にも積極的にかかわりました。歴史の節目の日には共同の集会をひらき、日本軍「慰安婦」問題や七三一部隊の跡を訪ねた報告、県議会での『はだしのゲン』攻撃の報告などをおこないました。

AALA 独自企



52 人が参加した 12・8 集会で報告する黒部信也さん

画では、トナカイ遊牧民の文化に関する講演、沖縄・慶良間訪問の報告、日中韓三国共同の歴史書の歴史認識を考える報告、エスニック料理の旅、青年との内灘スタディハイクにとりくみました。2014

年1月には多国籍企業の活動から日本と世界の経済を考える講演会をおこないます。

機関紙富山版では、会への結集を高めるために、会員インタビュー記事「私とAALA」をスター

トさせました。率直な意見、注文もあり、活動のヒントを得ています。会員は一進一退をつづけていますが、活動を通してこそ会員は増えることを確信して、粘り強くとりこんでいます。(松浦晴芳)

愛媛

世界を視野に

愛媛 AALA は、13年3月、愛媛平和委員会との共催で、沖縄平和ツアー報告や「標的の村」の視聴、澤田有大阪 AALA 理事長をお迎えしての講演会と総会を開催。

9月には、日本の近現代を訪ねる沖縄から台湾のツアーを実施しました。そこで学んだ歴史的足跡は、日本の近現代の生なましい侵略の傷跡でした。同時に台湾の人びとによる将来を見すえたとりくみに出あえたことは収穫でした。

11月末には、愛媛革新懇、愛媛県安保破棄実行委との共催で

緒方靖夫さんをお招きしての講演会を開催。翌日が1万人を目標にした「NONUKES(原発はいらない)えひめ集会」の開催が予定されていたため、その準備もあって参加者は60人となりましたが、参加者がいちように「情勢を世界的にみる大切さを学んだ講演会だった」と大変好評でした。

さて、激動が避けられない14



講演する緒方靖夫さん

年、愛媛 AALA はどう役割を果たすか、ピリリとワサビの効いたとりくみができればと思うのですが…。(山本 翠)

わたしと 57



AALA

千葉県
吉村りよみ

励まされた「ツフネ原則」

国際的な視野はとても大事だと思います。

特定秘密保護法に対する反対世論が急速に広がっていったとき、「ツフネ原則」という国際的に討議された国家安全保障と情報への

権利に関する原則について知りました。

◎国民には知る権利がある(原則1)

◎いかなる政府機関も情報公開の要求から免除されることはない(原則5)

◎政府は国際人権、人道主義関連法違反に関する情報については非公開にしてはならない(原則10)

◎情報を漏洩した者に対して刑罰を科するにあたっては、その情報が公開されることで公共の利益を損なう顕著な害をもたらす現実的で誰の目にも判断できる危険がある場合にのみ考慮され

るべきである(原則43、46)

◎ジャーナリストや、政府のために働いているのではない人々は、秘密情報を受け取ったり、所有したり、あるいは公に明らかにしたことで起訴されるべきではない。秘密情報を求めたり、アクセスしようとしたことを根拠にして共謀またはほかの犯罪として起訴されるべきではない(原則47)

日本国内だけを見ていると暗い気持ちになりますが、国連憲章、国連人権規約、東南アジア友好協力条約等を見れば、私たちが目指す方向がまちがいではないと思います。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4階

電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料60円)